



きみ抱けば
声をあげて泣きそうなの……

それは
太陽のふりそでく下

＊抱くことのおすべも
くちづけの意味も知らない
14才の少女と15才の少年

アン・ソフィ・シリーン
ロルフ・ソールマン

監督ロイ・アンデルソン
撮影ヨルゲン・ベルソン
音楽ビョルン・イースファルト

ヘルト・アンデルセン
「サントラ盤」コロムビアレコード

A Swedish
Love Story

純愛日記

〈カラー作品〉



1970年度ベルリン国際映画祭推薦作
国際映画作家協会「黄金額」賞
国際映画評論家協会賞
国際ジャーナリスト協会特別賞

■ キャスト ■

パール……………ロルフ・ソールマン
アニカ……………アン・ソフィ・シリーン

■ スタッフ ■

監督……………ロイ・アンデルソン
脚本……………ロイ・アンデルソン
撮影……………ヨルゲン・ベルソン
音楽……………ビョルン・イースファルト
……………ヘルト・アンデルセン
編集……………ロイ・アンデルソン
……………カッレ・ボーマン
録音……………オーベ・スベンソン
音楽効果(ステレオ)……………スベン・ファールン

■ CAST ■

Par ……………ROLF SOHLMAN
Annika ……………ANN-SOFIE KYLIN

■ STAFF ■

Directed by ……………ROY ANDERSSON
Screenplayed by ……………ROY ANDERSSON
Photographed by ……………JÖRGEN PERSSON
Music by ……………BJÖRN ISFALT
……………BERT ANDERSSON
Film Editor by ……………ROY ANDERSSON
……………KALLE BOMAN
Sound Engineer by ……………OWE SVENSSON
Special Effects by ……………SVEN FAHLEN

純愛日記



監督ロイ・アンデルソン / 松竹映配・提供

＊かいつ

きみ抱けば 声をあげて泣きそうなの……
それは 太陽のふりそそぐ下
抱くことのすべも
くちづけの意味も知らない
14才の少女と15才の少年

この作品は、青春のめざめとともにめぐり逢い、幼い愛を清らかに育んでいった少女アニカと少年ベルの愛の物語——スウェーデン映画界が名作「みじかくも美しく燃え」に続いて贈る珠玉の名篇。
主演の二人は監督自らの抜擢でスターダムに上った期待の新人。アニカ役のアン・ソフィ・シリーンは学業を続ける為に他の出演依頼を断わっている。また、ベル役のロルフ・ソールマンは名女優カリン・ファルクの子息。いまやプロマイドの売れ行きNo.1に成長。

監督のロイ・アンデルソンは26才の新人。「灰とダイヤモンド」に感激して映画界入りしたという異才。

撮影には「みじかくも美しく燃え」の名手ヨルゲン・ペルソン。音楽には新人ビヨルン・イースプアールト。

なお、この映画はベルリン映画祭で満場一致の特別推薦作品。審査員をして「生涯忘れ得ぬ感動の名画」といわしめたのがこの作品である。

欧米で絶賛の嵐を浴びた傑作！

週刊誌「ベッコ・レヴィン」

「この映画は暖かく、人間的、楽しく、素晴らしい、そのひと言につきる」

「ダーゲンス・ニヘター」紙

「本当の青春の愛を描いた傑作」

「スベンスカ・ダーゲブラーデット」紙

「ロミオとジュリエット」のスウェーデン版。脚本と演出の素晴らしさは高く評価されるべきである」

「アフトンブラーデット」紙

「素晴らしい愛のお話である！」

「イエテボリス・ポステン」紙

「感動した。若い恋人たちの愛に——」

「シドスベンスカ・ダーゲブラーデット」紙

「真実の映画だ。ここに描かれる愛の姿は世界共通のものだ。スウェーデンの傑作映画の誕生！」

「クベルスポステン」紙

「みじかくも美しく燃え」をしのぐ素晴らしい映画。

ロイ・アンデルソン監督に拍手」

＊ものがたり

爽やかな緑の春風が、何かおこりそうな気配をはこんでくるストックホルム郊外——

のどかなたずまいの中にある療養所に、おじいさんを訪ねた15才の少年ベル。若葉薫る野外に張られた食卓。立ちはたらくベルの胸に淡い一閃——グレートデンを連れ来た可憐な少女がベルの瞳を離さない。

街に戻ってからのベル。淡くも忘れがたい少女の影をいつしか求めてモベットを走らせる——もう一度、逢いたい。どうしても——

胸のときめきが、日々いや増すベルはジュークボックスのあるスナックでその少女とめぐり逢った。友達に紹介をうけ、少女の名前を知ったベル。その美しく響く名前を小さく呼んでみる。「アニカ」。

コーヒーショップで、春の草原で、交わす微笑が清らかな恋の芽ばえを誼う——そして知りゆく愛。モベットに乗った二人は空を飛ぶ心。薄暮の街角で軽く合せた二つの唇が空を照らし明日を呼ぶ。

だが、そんなある日、ベルはアニカの前で殴り倒される。幼なきゆえの残酷なジェラシーが仲間一人をそうさせてしまった。くやしきにかたくなになったベルはモベットに飛びのる。

「待つてベル！待つて！」

涙でにじむベルの後姿を追うアニカの悲しみ。戻ってベルに戻ってきた——膝まづくアニカの小さく震える肩。

舞いあがった砂塵が地に戻る時、この恋は消えてしまふのか——

だが、ベルは戻ってきた。愛の色に輝やく砂塵を再び勢いよく舞いあげて——

「アニカ！」

「ベル！」

愛が芽ばえ花開く夏も過ぎ、瞳を交わす二人はもう離れられない——

ベルの別荘に遊ぶ可愛い恋人たち。静かな森の中で固く結ばれて——

抱くことの術もくちづけの意味も知らない幼ない二人が美しくもはげしい愛を知る。二人だけの世界がいまひろがってゆく——

（一九七〇年度作品・上映時間1時間38分）

《心》をこめてお贈りする松竹映配《愛》の秀作！

その恋は 雨ふるベニスにいま消える
残された言葉はたゞ一つ 愛をこめてさようなら……

《カラー作品》ANONIMO VENEZIANO

ベニスの愛

フロリンダ・ボルカン / トニー・ムサンテ

監督エンリコ・マリア・サレルノ(サントラ盤)セブンシーズレコード

「ロミオとジュリエット」から2年——
L・ホワイティングが20才になりました

《カラー作品》SAY HELLO TO YESTERDAY

昨日にさようなら

レナード・ホワイティング / ジーン・シモンズ
監督アルビン・ラコフ(サントラ盤)GRTレコード

6月中旬・純愛のロードショー 丸の内松竹 新宿日オスカー 東レックス
(201) 3720 (352) 2431 (407) 7029